

# ことばの諸相

担当者：高橋 幸雄 非常勤講師

担当講座（科）：共通教育センター

講義 21 時間

単位 1 単位

学年

1 学年 前期

## 学習方針

### 基本理念：

人間言語の普遍性を認識した上で、個別言語の多様性の境界を捉える。その上で、言語が人間の意識の生成にどのように関与しているのかについて概略を捉える。そのために人間の言語がどのような身体的基盤の上に成立しているのか、社会・文化的な因子を考慮しつつ、意思を伝達・共有するとはどのようなことかについて考察する。

### 一般目標（GIO）：

言語をいくつかの構造的な視点から捉えることで個別性の背後に存在する普遍性は明確になる。言語には音韻的、統語（形態）的、意味（概念）的な構造が存在している。それらの構造を精査していくと、個別言語的な多様性は極めて限定され、指定可能であるということが明らかになる。同様に、一見、人間の外に存在しているとも思える社会・文化もまた構造的な存在であり、人間性を反映したものである。

### 到達目標（SBOs）：

1. 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。
2. 意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。
3. 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。

## 講義日程

（第7講義室）

受講者を2グループに分け、クラス1は水曜日1時限目、クラス2は金曜日（7/14は火曜日）2時限目に授業を行う。

クラス	月日	曜	時限	講座（科）名	担当者	内容
1	4/15	水	1	共通教育センター	高橋幸雄 非常勤講師	人間の言語体系と動物の伝達体系
2	4/17	金	2			
1	4/22	水	1	〃	〃	音声の体系 I
2	4/24	金	2			

クラス	月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
1	5/13	水	1	共通教育センター	高橋非常勤講師	音声の体系Ⅱ
2	5/1	金	2			
1	5/20	水	1	〃	〃	音声の体系Ⅲ
2	5/8	金	2			
1	5/27	水	1	〃	〃	音声の体系Ⅳ
2	5/15	金	2			
1	6/3	水	1	〃	〃	文に構造を仮定する論拠Ⅰ
2	5/22	金	2			
1	6/10	水	1	〃	〃	文に構造を仮定する論拠Ⅱ
2	5/29	金	2			
1	6/17	水	1	〃	〃	文に構造を仮定する論拠Ⅲ
2	6/5	金	2			
1	6/24	水	1	〃	〃	文に構造を仮定する論拠Ⅳ
2	6/19	金	2			
1	7/1	水	1	〃	〃	言語・文化・進化Ⅰ
2	6/26	金	2			
1	7/8	水	1	〃	〃	言語・文化・進化Ⅱ
2	7/3	金	2			
1	7/15	水	1	〃	〃	言語・文化・進化Ⅲ
2	7/10	金	2			
1	8/26	水	1	〃	〃	言語・文化・進化Ⅳ
2	7/14	火	2			
1	9/2	水	1	〃	〃	言語と人間
2	8/28	金	2			

注) 7/14 (火) 2時限 : C2

※ 私語は厳禁とする。講義はスライドで行い、スライドはウェブで公開します。

教科書(教)・参考文献(参)・推奨図書(推)

Power Pointで資料を提示する。資料は英文により提示する。

成績評価方法 : 出欠及び筆答試験

オフィスアワー一覧

授業を担当する教員氏名	方式	曜	時間帯	備 考
高橋非常勤講師			電子メールでの質疑を受ける。	